



## はじめに

設備のユニット化（部品化）が進展すればするほど、それらを接続するジョイント（継手）の果たす役割が一層重要性を



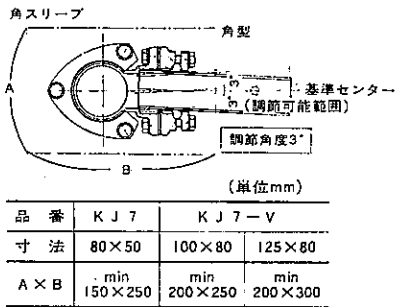


図7-2 左右角度調節の場合

- ・ 堅管を後から配管する工法で横枝管の長さの誤差を取合せ吸収する

吸収範囲

基準面にたいし  
プラス側70mm  
マイナス側70mm

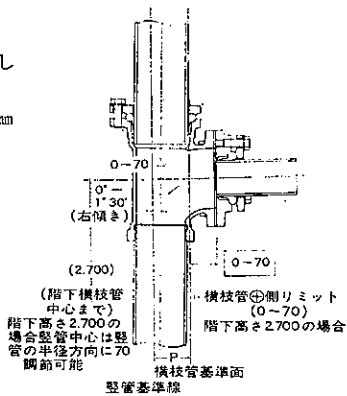


図7-3 基準面よりひかえている場合

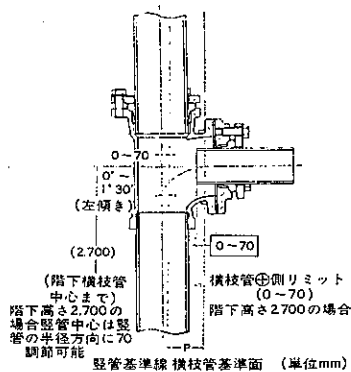


図7-4 基準面よりでている場合

・ 配管ユニットによる  
横枝管の接合位置合せ

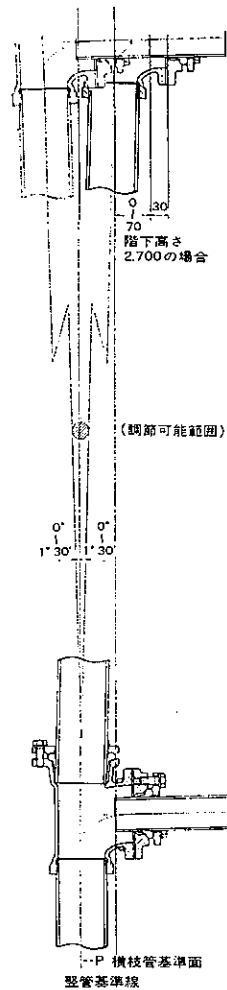
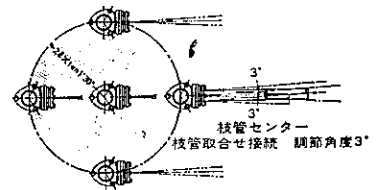
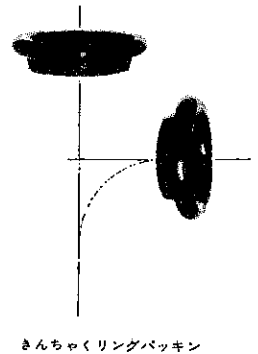


図7-5

横枝管の平面誤差調節吸収範囲  
説明図



- ・ きんちやくリングパツキンによつて  
施工後の層間変位を吸収する



きんちやくリングパツキン

- ・ 配管の揺れ、振動を吸収する  
きんちやくリングパツキンによつて堅管と横枝管の揺れ、  
振動は充分吸収する

振動試験結果

システム配管内に水圧  $1 \text{ kg/cm}^2$  の中で振動数360rpm、振幅3.2mmを30分間加え漏水その他の異常の有無を調べた。

①配管の末端（調節角度は最大）異常無し

②配管の上端末端（ " ） " "

※①振動機取付け 1台 ②振動機取付け 2台